



こころにスマイル 未来創造パーク

マレーバクの赤ちゃん

2019年3月27日（水）より公開いたします



2019年3月25日撮影

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）において、2019年3月10日（日）に約3年ぶりに誕生したマレーバクの赤ちゃんを3月27日（水）より親子で公開いたします。

現在、赤ちゃんは乾草や果実も徐々に食べるようになってきており、非常に好奇心旺盛です。マレーバクは、体の色が白黒2色にはっきりと分かれているのが特徴的ですが、生まれたばかりの赤ちゃんはイノシシの子どものように茶色に白い縞模様と斑点が特徴的です。マレーバクの親子はサファリワールド内マレービレッジでご覧いただけます。赤ちゃんの成長を温かく見守ってください。

【マレーバクの親子公開について】

- 開始日：2019年3月27日（水）
- 時間：午後2時45分～午後4時20分
- 場所：サファリワールド内 マレービレッジ

※天候や動物の健康管理上の理由で、公開内容を変更・中止する場合がございます。

【マレーバクの赤ちゃんについて】

- 出生日：2019年3月10日（日）
 - 性別：オス
 - 全長：約60cm（出生時：約50cm）
 - 体重：15.7kg（出生時：約5kg）
- 2019年3月22日時点



2019年3月25日撮影

【親情報】

- 父親：2007年7月 2日 静岡市立日本平動物園 生まれ（11歳）
- 母親：2005年9月19日 よこはまズーラシア 生まれ（13歳）

- 飼育頭数：今回誕生した赤ちゃんを含み、計3頭（オス2頭、メス1頭）を飼育しています。

【マレーバクについて】

- 分類：奇蹄目 バク科
- 学名：*Tapirus indicus*
- 英名：Malayan Tapir
- 体長：180～250cm
- 体重：260～400kg



- 生息地：タイとミャンマーの南部、マレー半島、インドネシアのスマトラ島などに分布しています。
森林の奥深い湖や河川の近く、湿地帯などの水辺に生息する。
- 食性：アドベンチャーワールドでは主にニンジン、サツマイモ、リンゴを与えています。
- 繁殖：妊娠期間390～400日、通常は1子を出産します。
約2年ほどで性成熟を迎えます。
- 寿命：約25年
- 特徴：マレーバクは、アジアに分布している唯一のバクの仲間で、体の色が白と黒にはっきりと分かれかれているのが特徴。鼻は上唇と一緒にっており、自由に動かすことができる。
夜行性の動物で、暗くなってから水中の水草や、森の中で草や木の葉などの植物や果実を食べる。この際、長く伸びた口先を使って採食する。